

令和7年度 松野中学校教育活動に関する調査（前期：教職員用）

		A：十分できた	B：できた	C：やや不十分	D：不十分
確かな学力と特色ある教育		A	B	C	D
1	研究授業や校内研修などを計画的に行い、組織として取り組むことができた。	50%	40%	10%	0%
2	学校支援員等との連携を図るなど、個に応じた指導に努めた。	27%	55%	18%	0%
3	目標と指導と評価の一体化による授業の改善ができた。	8%	75%	17%	0%
4	宿題を工夫したり、学習の仕方を指導したりして、生徒の学習習慣が身に付くよう努めた。	30%	50%	20%	0%
5	地域創生をテーマとした総合的な学習の時間で、生徒の考えを深める取組ができた。	25%	58%	17%	0%
6	道徳の授業を中心としたすべての教育活動において、実践力を育てる道徳教育が実施できた。	30%	70%	0%	0%
7	生徒会活動やボランティア活動等を軸に、地域に貢献しようとする生徒の育成に努めた。	50%	30%	20%	0%
生徒指導の充実		A	B	C	D
8	教職員と生徒・保護者との信頼関係づくりに努めた。	45%	36%	9%	9%
9	あゆみ指導や教育相談等で生徒を理解し、一人一人の良さを認める指導に努めた。	42%	42%	17%	0%
10	人づくりの視点に立った部活動経営に取り組んだ。	45%	36%	18%	0%
教育の推進		A	B	C	D
11	あらゆる教育活動を通じて人権・同和問題学習等の充実を図り、人権意識の高揚に努めた。	30%	50%	20%	0%
12	望ましい職業観・勤労観を育むことができた。（職場体験学習を含む）	9%	64%	27%	0%
13	あらゆる教育活動を通じて、全教職員による特別支援教育が推進できた。	10%	70%	20%	0%
14	避難訓練や防災教育の実践を通して、生徒の防災に対する知識・技能を高めた。	33%	50%	17%	0%
管理運営		A	B	C	D
15	仕事と生活の調和のため、働き方改革や業務改善へ意識的に取り組んだ。	18%	55%	27%	0%
16	なんでも相談し合える雰囲気づくりを意識し、温かく働きやすい職場づくりに努めた。	45%	36%	18%	0%
17	教育公務員として自覚を持ち、規律を守って職務を遂行した。	73%	27%	0%	0%
18	危機管理意識を持って勤務し、安全点検等を適切に行った。	64%	36%	0%	0%
19	教育環境を整える大切さを理解し、施設の整備と美化に努めた。	45%	36%	18%	0%
20	期限に遅れることなく適正に処理を行った。	82%	18%	0%	0%

反省、改善策等（自由記述より）

【確かな学力と特色ある教育について】

- ・目標達成のためにICTを活用した授業を行うことができた。
- ・研修が計画的に行われており、勉強になっています。
- ・忙しい先生方と支援員の先生方のパイプ役になれたら良かったと思います。後期は、伝達等を積極的に行い、パイプ役になれるようにしたいです。
- ・救急救命法講習会では、日赤奉仕団松野支部の方々に参加していただきました。今後も、つながりを大切にしていきたいと思います。
- ・読解力については、まだ未実施の項目があるので、2学期以降にしっかり取り組みたい。
- ・全教職員が毎月交代で研究授業を行う学校が初めてだったため、最初は戸惑ったが、実際にしてみると、自分の教科に対する理解が深まり、大変有意義だった。また、他教科の授業も見ることによって、今までなかった視点を取り入れることができた。
- ・それぞれの教科の先生方には、1学期の早い段階からの研究授業の提供、ありがとうございます。後日、これまでの各授業に対する評価の高かった点や改善点等について、職員にもフィードバックする機会があればと思います。
- ・業務の削減と、授業研等の校内研修の充実とは時間的に相容れず、どの学校でも難しい現状がある中、本校の先生方はよく取り組んでいると思います。できる限り、自己の成長のため、生徒のためにと捉え、前向きな気持ちで今後も取り組んでほしいと思います。
- ・個人に応じた課題や学習方法が行えなかったように感じる。家庭状況や個人に応じて全体で共有を図りつつ支援をしていく必要性を感じた。
- ・地域を見つめ直す授業を行うことができた。
- ・どの学年も道德の授業を大切に取り組んでいるのがよく分かります。
- ・生徒会の活動が特定の生徒たちによる特別な活動にならないように、月末の専門委員会で決まったこと（教室には掲示されていますけど）は、校内放送などで周知してほしいと思います。
- ・支援員さんと担任の先生が学年の情報を共有できていないと感じる。担任の先生から積極的に支援員さんと話す時間を作ってほしい。
- ・授業の課題の提示や展開について、より研修が必要だと思う。

【生徒指導の充実について】

- ・教育相談や指導したことを生徒指導の記録に入力することはもちろん、口頭報告も意識して行いました。毎日、記録をチェックしつつ、役割分担をしながら、統一した指導ができるよう、引き続き気を付けていきたいです。
- ・あゆみは奇数偶数に分けて集め、生徒の日々の悩みを聞き取りやすい体制を作った。また、学級の生徒全員とは一日に一回は会話するようにして、関係の構築に努めた。
- ・生徒との”距離感”が肝要です。教師と生徒との関係は水車に似ていると。生徒が水で、教師が水車だと言っていた先輩教員がいました。水車が水の中にどつぷりとつかっているのは役割を果たせないし、離れすぎていても同様だと。適度な距離を保つことが肝要だと。生徒への言葉遣いも同様です。
- ・生徒一人一人を大切にしている意識を持って教育活動を行うことができたと思います。様々な機会を通して、生徒といろいろな話ができた1学期でした。
- ・褒めて伸ばすを中心に生徒と関わった。また、授業以外にも休み時間や給食、部活動、下校指導など様々な場面で、生徒と関わることで、一人一人の良さを見つけ、声を掛けた。他の教員や保護者とも積極的に関わりを持ち、信頼関係づくりに努めた。

【教育の推進について】

- ・生徒の気になる発言等があった場合は、そのときに指導するよう意識しました。まだ、発言が気になる場面もあるので、今後も継続して指導していきたいです。
- ・1学期の避難訓練は消火訓練を設定していただき、より実践的な訓練になったと思います。
- ・町内100%の職場体験学習を計画している段階ですので、キャリア教育を2にしています。
- ・人権同和教育は、学校に蓄積されていた教材を使い、地域の実態や社会の現状に応じた教育ができていると思う。
- ・本校の規模だからこそできる全職員が参加しての教育相談は、大変良い取組だと思うので、続けてほしい。
- ・先生にやってもらって当たり前という風潮がある。この意識を少しずつでも変えていく必要を感じる。
- ・特別支援教育についてすべての教職員が研修し、多様な考えや指導法を学ぶ必要がある。
- ・生徒の言動には課題が見られるが見逃さない指導を徹底していきたい。

【管理運営について】

- ・全員が働きやすい職場の雰囲気づくりができればと思います。自分も感謝と反省はしっかり言葉に出して伝えていきたいです。
- ・業務改善への意識をより強くし、仕事と生活の両立を目指していきたい。
- ・”環境が人を創る”の言葉のように、様々なことに危機管理の視点と環境教育の視点を併せ持つようにしたい。そしてその環境は人が作るものである。何事も自分でやって見せなくては、周りに指導はできないと考える。自分自身の感性も磨いていかねばならない。
- ・教育環境整備は私自身がまだまだ足りないと思っています。時間を作って頑張りたいです。
- ・残業時間の規定を大幅にオーバーしてしまう現状である。しかし、他の教員と協力する事で少しずつ負担が分散されていると感じる。仕事の効率化と適正な分担、本当に必要か不必要かなどの見直し、改善を図っていきたい。
- ・今年度も学年部の先生がサポートしていただいているので、助かっています。

【その他】

- ・新しい風を吹かせてくださった先生もおられ、刺激を受けました。生徒は大人を本当によく見ているので、教職員のチームワークの良い雰囲気を作り、生徒にいい影響を与えられるようにしたいと思います。大人が楽しく生きている（仕事している）と子どもは「大人になるっていいな。」「早く大人になりたいな。」と思うそうです。良いモデルでありたいです。